

2023年3月期（2022年度） 第2四半期 決算説明資料

2022年11月4日

株式会社 指月電機製作所

(東証スタンダード/証券コード6994)

代表執行役社長 足達信章

22年度 上期（対前年同期）

▶ 売上高

：市場環境は、電子部品の供給逼迫／中国コロナ規制が継続する一方で、省エネ・脱炭素のニーズの高まりを受け、受注が好調に推移。これに加え、円安効果や素材価格高騰分の価格転嫁活動の刈り取りもあり、上期の売上高は前年同期比14%増、上期としては過去最高となる124億円を達成。

▶ 営業利益

：依然継続している素材価格の高騰に対応した価格転嫁を推進するも、刈り取りが後追いとならざるを得ず、加えて電力料金の増加も重なり、営業利益は前年同期の305百万円に届かず、135百万円に留まった。

22年度 通期見通し

▶ 売上高

：省エネ・脱炭素ニーズの高まりを踏まえた商談の確実な取り込みにより、通期では前回予想を上回る255億円を見込む。

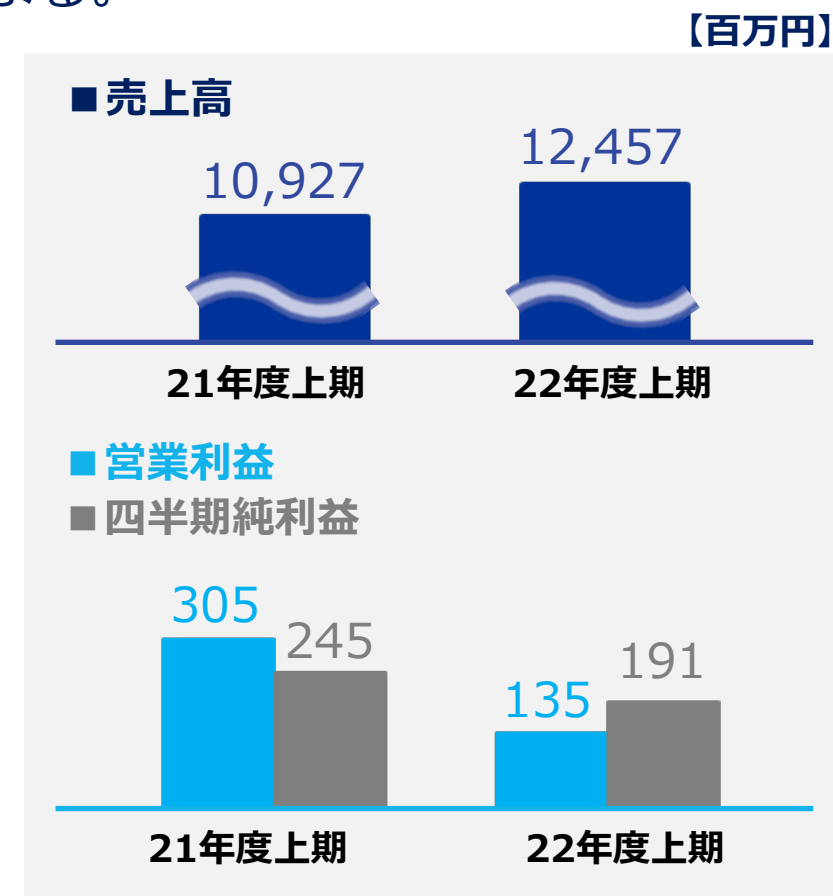
▶ 営業利益

：受注は好調であるが、素材他の物価上昇は今後も継続が見込まれ、営業利益は前回予想から5億円の下方修正となる10億円を見込む。

■ 上期 連結決算概要

- ▶ 売上高は、中国ロックダウン／半導体部品の需給逼迫等による x E V の減少があるも、産業／電力分野の太陽光向けコンデンサ／瞬低補償装置の伸長により、全体で前年同期比14%増、上期としては、過去最高となる124億円を確保。
- ▶ 営業利益は、素材価格高騰の継続に加え電力料金も増加、これらの価格転嫁が後追いとならざるを得ないことから、前年同期比▲1.7億円の1.4億円に留まる。

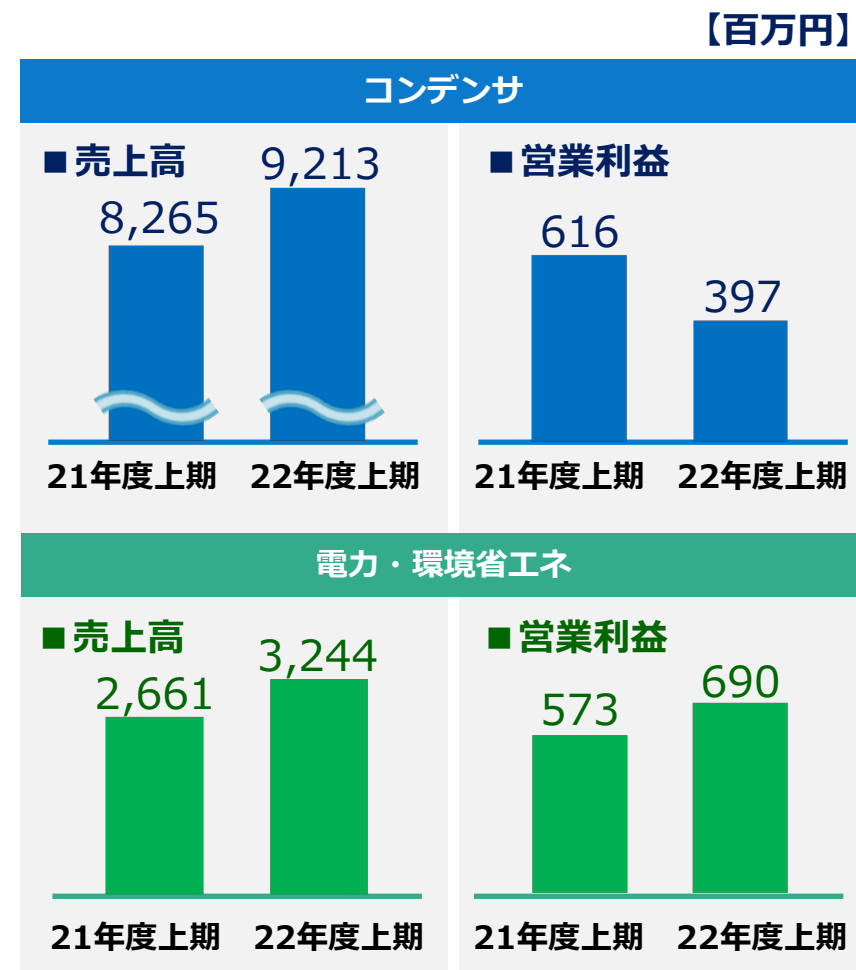
項目	2021年度 上期	2022年度 上期		前年同期比
	実績	前回予想	実績	
売上高	10,927	12,200	12,457	+1,529 (+14%)
営業利益	305	100	135	▲170 (▲56%)
営業利益率	2.8 %	0.8 %	1.1 %	—
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	245	170	191	▲54 (▲22%)



■ 上期 セグメント別実績

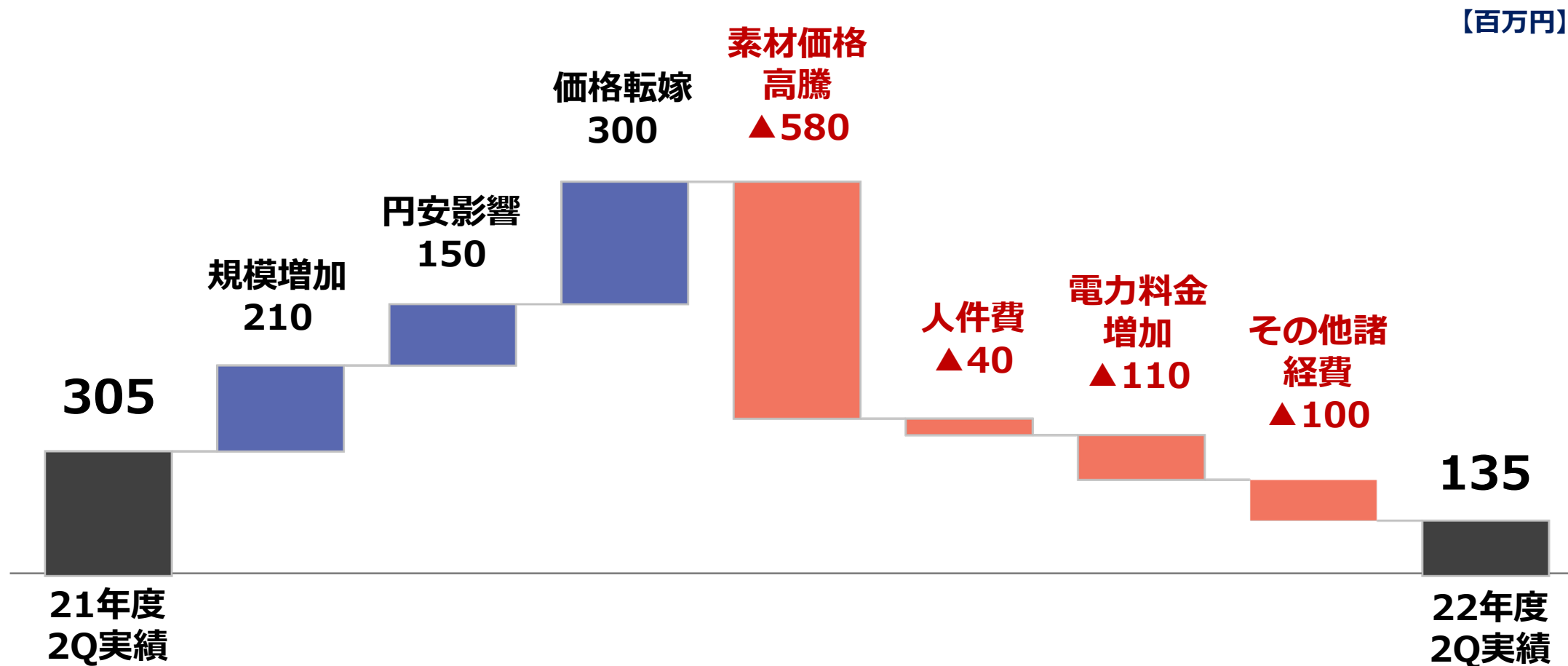
- ▶ コンデンサは、x E Vの減少を産業機器で吸収し、前年同期比11%の伸長。営業利益は、継続した価格高騰に加え、電力料金値上げもあり減益。
- ▶ 電力・環境省エネは、半導体部品メーカー向け瞬低補償装置の伸長により、売上高/利益とも、前年同期比20%超の伸長。

セグメント	項目	【百万円】		
		2021年度上期 実績	2022年度上期 実績	前年 同期比
コンデンサ	売上高	8,265	9,213	+947 (+11%)
	営業利益	616	397	▲219 (▲36%)
	営業利益率	7.5 %	4.3 %	-
電力・環境 省エネ	売上高	2,661	3,244	+582 (+22%)
	営業利益	573	690	+117 (+20%)
	営業利益率	21.5 %	21.3 %	-
セグメント利益の調整額		▲884	▲952	-



■ 上期 損益変動分析

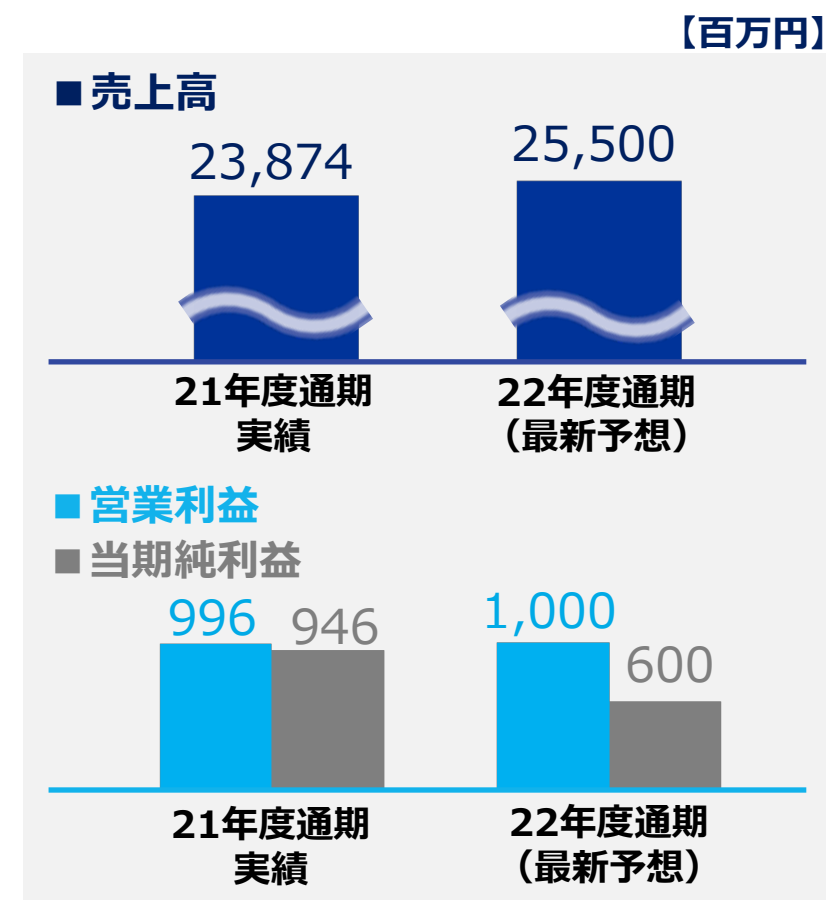
- ▶ 規模増、為替円安、価格転嫁の進展の一方で、素材価格の継続的な高騰の影響が大きく、前年同期比1.7億円の減益。



■ 通期 連結業績予想

- ▶ 売上高は、産業／電力分野の拡大により、対前年度比7%増、前回予想を上回る255億円を見込む。
- ▶ 営業利益は、素材高騰の価格転嫁を進める一方、今後一層の素材価格／電力料金等の物価高騰が一部継続すると見込まれ、前回予想比▲5億円となる10億円を見込む。

項目	2021年度 通期	2022年度通期		前年度比
		(前回予想)	(最新予想)	
売上高	23,874	25,200	25,500	+1,625 (+7%)
営業利益	996	1,500	1,000	+3 (+0%)
営業利益率	4.2 %	6.0 %	3.9 %	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	946	1,000	600	▲346 (▲37%)



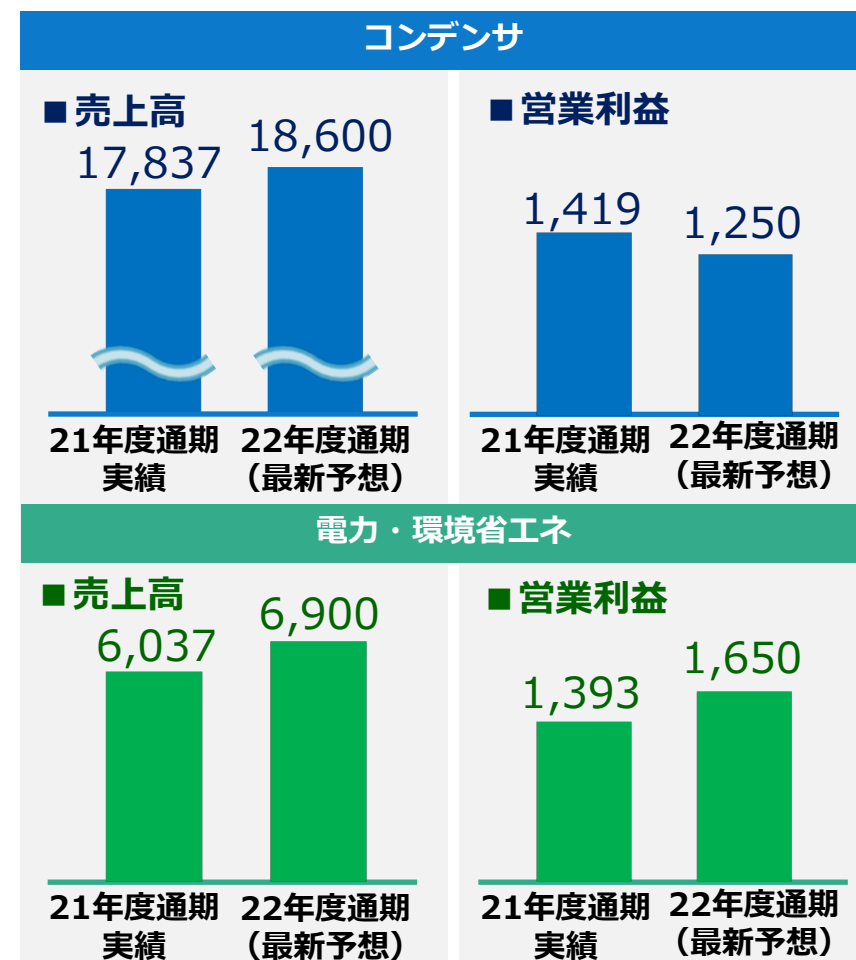
■ 2023年3月期（2022年度通期）セグメント別見通し

- ▶ コンデンサは、産業分野での太陽光向けを中心とする需要拡大を受け、売上高は前回予想を上回る186億円を見込む。一方、利益は、素材価格／電力料金の高騰により予想値には届かず。
- ▶ 電力・環境省工ネは、瞬低補償装置の継続的拡大により概ね前回予想どおりの売上高を見込む。利益は、前年度比増とはなるものの、素材価格影響により予想値には届かず。

【百万円】

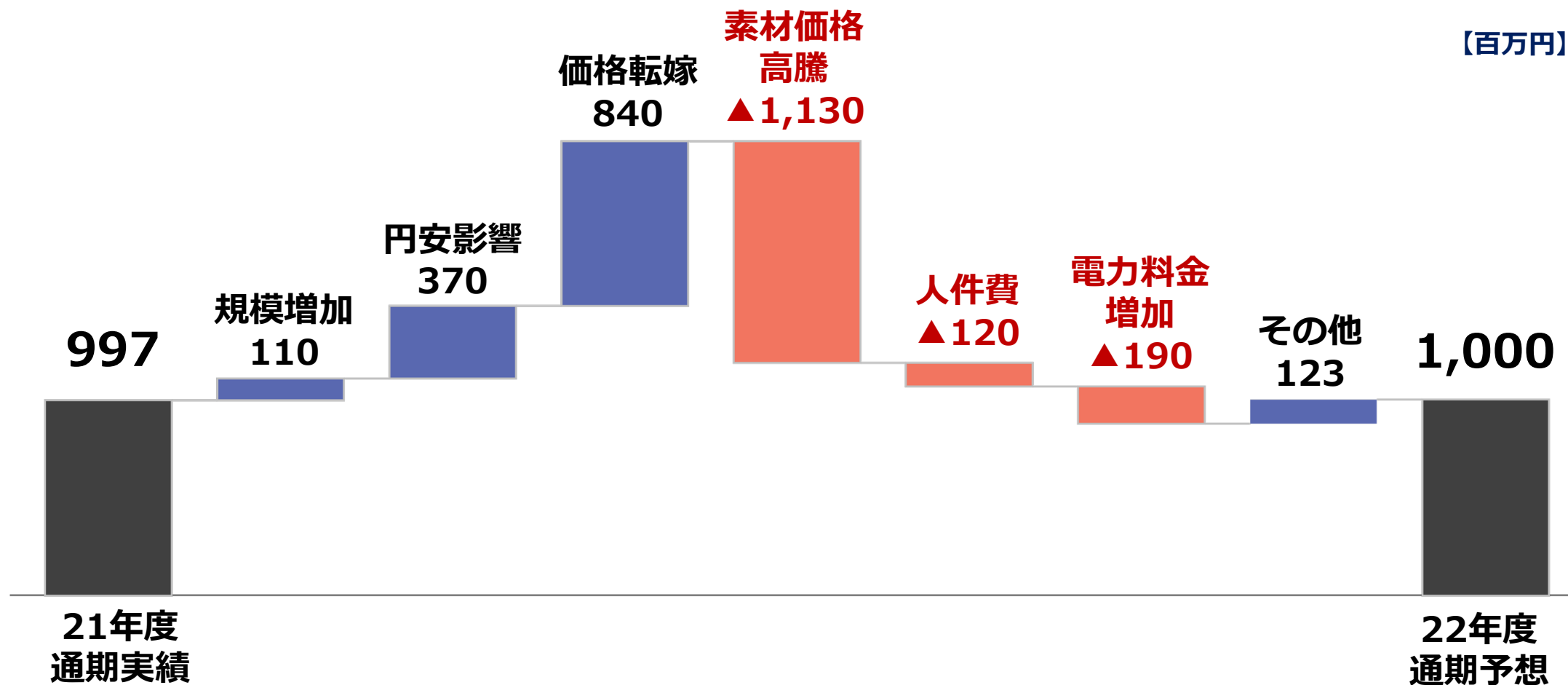
項目	セグメント	2021年度 通期	2022年度 通期		前年度比
			(前回予想)	(最新予想)	
コンデンサ	売上高	17,837	18,200	18,600	+762 (+4%)
	営業利益	1,419	1,500	1,250	▲169 (▲12%)
	営業利益率	8.0 %	8.2 %	6.7 %	-
電力・環境省 工ネ	売上高	6,037	7,000	6,900	+862 (+14%)
	営業利益	1,393	1,900	1,650	+256 (+18%)
	営業利益率	23.1 %	27.1 %	23.9 %	-
セグメント利益の調整額		▲1,815	▲1,900	▲1,900	-

【百万円】



■ 通期 損益変動分析

- ▶ 素材価格の継続的な高騰、電力料金の増加の影響がある一方で円安影響、価格転嫁の進展があり、ほぼ前年度並みで着地。



■ 設備投資・ROA・配当

- ▶ 設備投資は、xEV、産業の生産能力拡大にむけた投資を継続する。
- ▶ ROAは資産効率としては前年と同程度となる見込み。
- ▶ 配当は前回公表値を据え置き、年間9.0円を計画。

項目	単位	2021年度 実績	2022年度		備考
			上期	通期（年間）	
設備投資	【百万円】	1,298	298	見込 1,660	意思決定ベース
ROA	【%】	3.1	0.4	見込 3.1	営業利益ベース
配当	【円】	8.5	4.0	計画 9.0	上期4.0+下期5.0

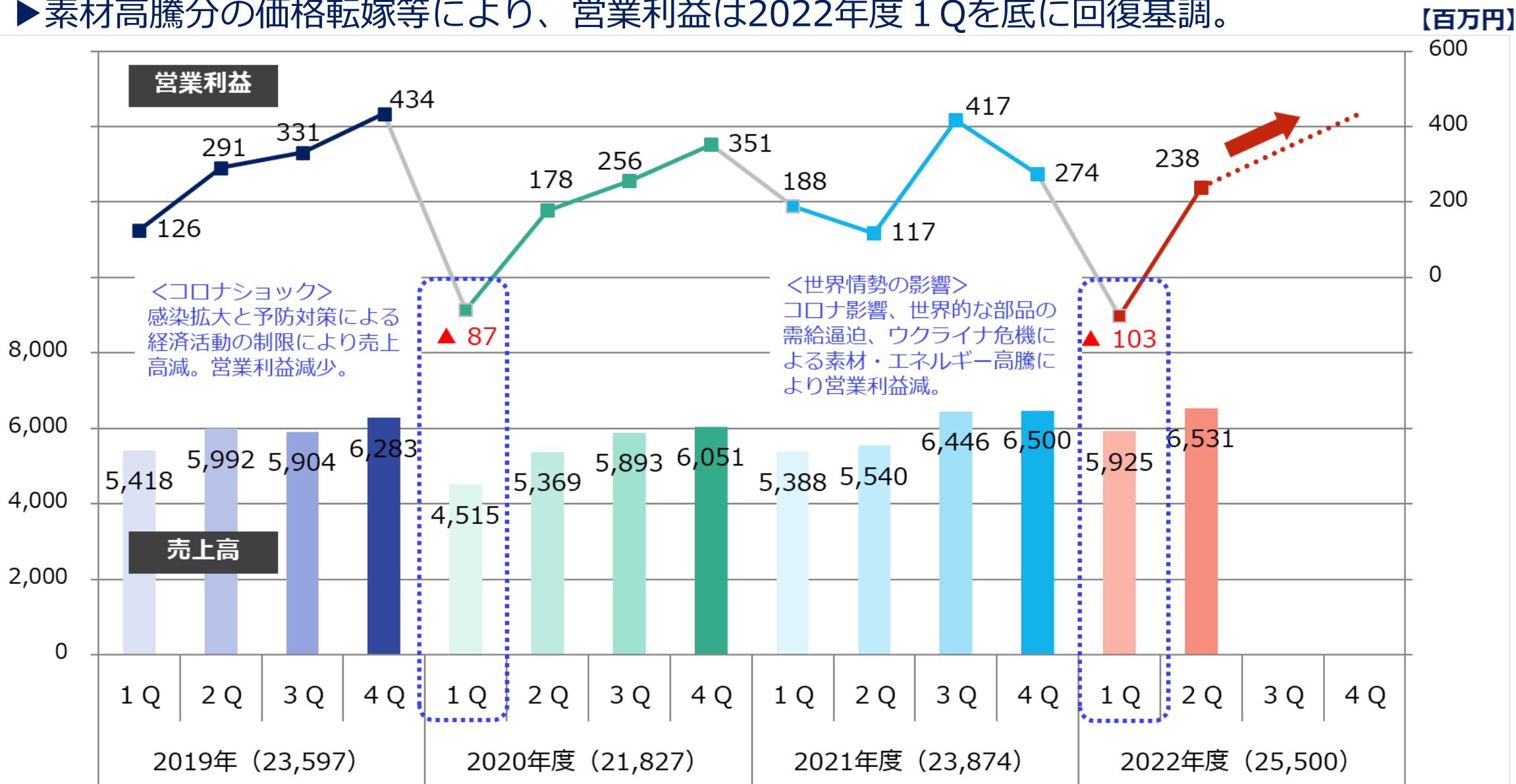
(補足)四半期別 事業別売上推移

【百万円】

重点事業		2020年度					2021年度					2022年度		
		実績												予想
		1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	年間
コンデンサ	産業機器	1,452	1,407	1,322	1,344	5,525	1,402	1,543	1,743	1,910	6,598	1,879	2,099	—
	自動車 (xEV)	863	1,602	1,794	1,964	6,223	1,753	1,609	1,940	1,733	7,035	1,628	1,644	—
	その他	836	852	1,016	1,098	3,802	1,021	938	1,090	1,155	4,204	960	1,000	—
	合計	3,151	3,861	4,132	4,406	15,550	4,176	4,090	4,773	4,798	17,837	4,468	4,744	18,600
電力機器	電力 (国内)	1,167	1,288	1,453	1,287	5,195	965	1,153	1,379	1,234	4,731	1,022	1,172	—
	電力 (海外)	92	106	161	154	513	148	98	138	272	656	246	192	—
	環境省工ネ	67	58	57	108	290	71	96	66	70	303	181	333	—
	その他	38	56	90	96	280	28	103	90	126	347	5	89	—
	合計	1,364	1,508	1,761	1,645	6,278	1,212	1,450	1,673	1,702	6,037	1,456	1,787	6,900
総合計		4,515	5,369	5,893	6,051	21,828	5,388	5,540	6,446	6,500	23,874	5,925	6,531	25,500

<補足> 四半期別 売上高・営業利益推移

▶ 素材高騰分の価格転嫁等により、営業利益は2022年度 1Qを底に回復基調。



注意事項

この資料に記載されている、当社および当社グループに関する業績見通し、計画、経営目標、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、あくまでも将来の業績などに関する見通しであり、それらは各資料の作成時点において入手している情報と一定の前提に基づき作成されております。従いまして、実際の業績は経済環境、市場動向、製品の需要変動、価格変動、為替レートの変動などの重要なリスク要因や不確実な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性がありますのでご注意ください。